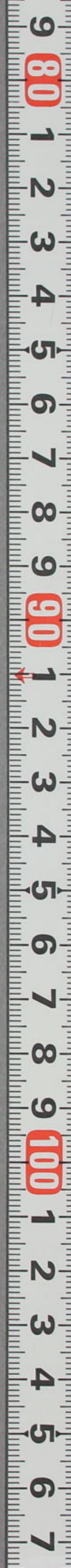
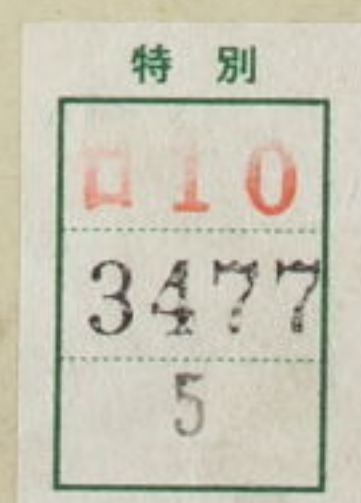




名義大意

上下



臣等、君臣ノ名分、西ニテ事、永代ニ天神ノ命以テ
天下ニ天孫降臨シ至ヘシヨリ、君ト申奉ルハ上天
ヲ大御命國ヲ奉リヨリ、諸神ヲ治メ王族
以下青人等迄モ皆天孫ノ臣トナリ、世々君臣ノ
分明ヲ以テ定カセラル、但皇國ノ儀ニ
キコフニトクハ、君臣ノ儀字ノ意ノ外ニ違フモノ有
リト云ハ、君臣ノ儀字ヲ用テハ、石ニ云フカキナリ
王族貴人ト云ハ、私ニ言ハフ者ヲ示シ、以皇國ノ人ヲ
臣トシ天子ノ者ニ私ニ言ハフ者レシ、君ト云フハ臣ハ
テサヤ事アリ、執ルヲ近侍ニ奉リテハ、諸侯方ノ家系

ナリ是より以後惣追捕使（附）松東大納言、成りて幕府の関口以後は天下の武士皆幕府に附屬スルコトナリ是レ是レ將軍ヨリ臣下ト云ハズ將軍ヲ君ト云ハズ一天下ノ武士皆幕府ノ下吏ニシテ所謂至從ナルモノ也扱武士ノ大ナルヲ大名ト云フハ武士ニ元ハ皆農ナレ故ニ多ク田畠ヲ所持スル大農ヲ大名ト云フ名トハ田ニ依リタル事也農ヲモ持所ノ田園ノ地ヲ所領ト稱シ（附）今ハ領主ノ上ニ在ル故ニ農家ニテハ所領ナドハ云ハズ事ニナレリナレバ古代ニハ武士所領ヲ傳リ渡ルモ賣渡スモ其人ノ心任セリ然ルニ

ソレハ古代ノ事ハ忘レテ今ハ大名ノ家系ナド見主人ニ上書スルコト已テ臣某ナド稱ハヤラヌ僻事ナリ漢土ニハカルナリ有リモ為ケン本朝ニテハ私ノ君臣ト云フハ交而有レテナシ昔シノ書ヲヨクハ讀テ并フベキナリナ支那ハ天子ノ誓ヒ國ナリ日本ハ神代ヨリハ天子ニ座シテ代ル事ナレバ君ト云モトモ人ヨリ外ニ有マレキ事ナリ近代徳川幕府ニ附屬シ仕ヘシ諸侯大中小細々々々義宰相中々將其外諸士五位諸大夫中々一官位ハ必ヨリ幕府ナリ幕府ハ官位ニ非ス京都ヘ對シテハ君臣ナル故ニテ幕府ハ

王位に在りし又舊俗に付テテ執行とし政事を万機ノ政
 ニテ一家ノ政事ニハ非スガレバ其有司中吏トシテ天子
 ノ下吏ナルヲ以テ論ナシ天子ニハ君臣ノ別ナシ天子
 是ヲ以テ推ス片ハ大名ノ家系モ天子ヘ對シテハ君
 臣大名ヘ對シテハ王位ナリ其君ナル天子ハ遠ク尊リ
 シテ遠ク疎ケルバ其王人ノ近ク親シキヲ君トモ王人ハ
 一ツ心ニ付カシメキ教ヒテタリニ君上ナトモ臣下ナトモ
 唱ケルニ皇國ノキミト云ヘル國ハ尊稱ニテ上ヨリ下ノ者
 ニテモヤカノ尊ニテハ用ヒ下ノ人上ヲ指ラモ又相互ニモ男
 女ノ中ニテモ互ニ尊稱シテ云フ例ナリ君臣ノ君ニ此

御正しきありせん下ゆへ君臣ノ君ニカサテヨコ付タレシ
 臣ナリナレバ御臣ノ君臣ノ臣ノ中ニ義ニ非ズ臣連ナド云
 姓名ナリコトヨコ付タレシ君臣ノ字ノ義ニ叶タレバ皇國
 語ナレバ正シクナラズバ義理モ至リテ近ヤ政ニ備リ
 用ヒテヨコ付タレシ此ノ訓ニ拘ルナレバ君臣ノ文字
 盡道直ニ必ズヨコ付ナレバ古書ノ義ヤヨコ付見
 テ知ズ君臣ノ義ナレバ天子ニ對セリバ用サレテ
 朝タリテ定ムルコト義理ニ拘ルナレバ非ズ是レ前代共
 目出度流リタレバ名義ノ明ラカナレバ故ナリ天詔
 元年源賴朝起進御使ニ拘セテヨコ付今年慶應四

歷年迄六百四十年天下兵權漸次征夷大將軍ニ委
任されしハ大政を武臣任せし故ニ天下ノ武士ト云者
悉ク幕府ニ附屬し主トシ仕ヘケル故ニイツト無リ臣下ト
思フヤリニ成リ其以下ノ大名ノ家系モ又亦ニ大名ニ對シ
テ君臣ナリト思フヤリニ成リ近來加茂貞例
ナル相長ナリトヨリハ國ノ治平ニ通テ亦明ラカニ
成リ上下共ニ國事ヲ知ル者モ多ク成リシ故ニ
其意ヲ懈ラシメテ幕府ノ事ヲ健白セシ者モサリシ
ハ幕府ノ事ナリ有日ノ儀リ則チ亂兆スル
ハ抑々幕府ノ鎮壓ニ關ケルヨリ今ノ武家大

臣云々起リハ天下ノ政是ヲ頼明憲道補使ニ補セシ
征夷大將軍武臣ノ權ナリ直ニ幕府ノ事ナリ
皆幕府ノ任ナリ然レニ幕府ノ事ナリ多ク
是ノ何事モ幕府ノ權ナリ故ニ幕府ノ亂ニ起リ以
テ武家我儘ニ成リ後醍醐天皇モ逆轉マシ
テ幕府ノ權ニ別ニ幕府ノ權ナリ又北條ノ時ニ
テモ一臣我儘モ幕府ノ權ナリ北條時代ニハハ大國ヲ
鎮メ大名ハ無リシヲ是利ハ世ニサリテハ己シニ從フテ
功者有及我氏族ノ大國ヲ寓ヘテ我ニ荷勝セシ
幕府ノ大國ヲ鎮メ大名ハ無シテ北條ノ頃ニテ

大和名にあらはに大身無くを所を那に解
武まきり夫を全我田園を持たれ所をテは國地
取歸り持たれ地を已に地頭減り替に地へ天領
附り文既スに大名の守領減ト云し日迄百を
昔文既の領に土地田地田一段より一斗一升錢
也取へき是ナルの領地へ止ふ果トテ祖の
地頭が私欲して出さずレバ多かり由り是利ノ
成りテ南北朝の事しに客りテは國地を少く專
復地頭ト云者己に有トせしナリ山名細川斯波
其外大國の守領減ト云テ遺レタル相朝は
武家

三子左條りテテ守領減の事トテ續り天子
カ下土地武家ノ有下領モ頼朝ニテ武家ノ
三子左條りテ武家大政ヲ執リ行フモ頼朝
後人補佐より武家ノ是利減り地をわりし古
武家ノ農田武家ノ農田は皆兵士に
物カレテ有テヤサレハ事應時大軍興
士ト百姓ト別バ百姓は一役ニ大軍集
兵ニテ大軍ハ出テ強シ武家ト百姓ト別
ヨリ農田ノ情ハ少ナリ人氣氣ノ難
武家ト百姓ト別バ百姓を元ハ
武家ト百姓ト別バ百姓を元ハ

千百姓ヲ賤シテ憫ムルハナキニ至リ、百姓ノ家
 ナリトモバ、皆ハ百姓ヨリ生レタリ、ニ昇ラズ、錦衣ノ族、
 一姓ニテモ、百姓ナルカ多カリ。臣士トテ、百姓トテ根元ヨリ
 ハ、相ニ手違フ事ナシ、同ク人種ナリ、イカコトハ百姓ヲ輕シ
 ケルヤ。誠ニ近來ノ惡風ナリ。應仁ノ亂ヨリ、天下一日天安キ
 勢ナク、朝廷モ殊ニ衰セ、而シテ天子方々憂メ、
 庭ノ礼典モ廢止シ、詔ヲ出サザリシニ、百二十年ノ亂世
 日暮ル所、長元和ヨリ二百五十年ノ間、何年モ動スヲ無
 ク、太子ノ代ニ江リシハ、全東地モノ盛隆ニ依ン如ク、
 朝廷ノ礼典モ再ヒ興リ、尊宗ノ道モ闡ク行キ、二天

下り大政の相政^朝は身ノ仕来リハ格ニ武家ノ任セラルルハ
據礼ノ輩モ武家ノ貴族ニあつたに足まり武家ノ権威
を信じて一々賢ニテ福美大和軍ヲ調任せしめ平久より延
武進元ノ御天下多事也といひ世に全安ありけり幕府
重臣シ候とて五柱ノ中事ニサテ二百年前モ太平お終
七段バ文達モ道玄ニ相見ケル誰モ代ノ傳信ニヨリテ
本朝ノ方國ニ賜ヒラキキトモ名義人一日モ廢ス可カラ
ナルヲモ右稱ヘ知レズニヤトリ一徳川家康公久シキ礼也
その後ニ出テ世ヲ靜治シ候モ紛々然ク休メ廢止かん其
目土座内也ニ依リ古化源有書リも多少求ソウニ後モ其

鎮守祖ノ一極を止む皆がう其心具氏ヲカノ有
トセし改ニ自ラ奢侈ニそみ入リて者ナリ是幕府ヲ諸
侯モ同じし事ナリ今ノ世皇座ニあり年有トテ有建物
ハ其内ニ朝廷祖モ幕府ノ兵糧米モ地租ノ金モ金
龍ニカシエ**格外**ニ取寄ノ物ニ其田積ハ返テ
式ヨリ授ヘテハ中央ニ及ハヌ種ナルニ其子細別ニ悉
シキ事有り爰ニ賜ス朝廷祖ノ祖弟ニ園ノと云フ
ハ其内ニ世ニ悉ク抑留シテ皆カテ武家へ身有トテ
有是事ニ成百姓ト武家ト自持ト別物ニ成リしモノ
時代ヲ以テ自持ト相違シ有光武家ニモ納金ニ農人ニモ

ナル物ト思ヒテ昔ノ事歴ラ知レハ人ハ移ラン世ニ成リ改ニ
有光ヲ修事トモ不知農氏モ有光ヲ修事トモ思ヘテサレ
賦ノ更ハ無キヲ以テ賦ノイタニシテ農氏ニ限シテ是カ
爲國ノ用アリ建國家ノ富カレト以テサレ朝廷ト儒伸
家ト農氏ノ二用アリ其間ノ武家ナリ唐太ノ業統ヲ
存セル事故若義明ヲカサレト申附キモリシ則チ其家
新不徳ナリ我度ナリ今ニ修テハ其罪ノ悔スルナリ水戸
其門先國ニ也ト云フ**本朝**ノ礼典ニ明ラレハ大日本史ノ撰ニ
係リト名分ノ大ナリモ也ニ明カシテ氏未タ也廣ク人ノ
種一ニ修シモ不修者モ多ク其内ハ漢籍ヲヨリ讀

三任セガリシハ官軍ニ徳化ノ節ハハ能テ下モ思ヒテ必サセ
玉ハカクニテモ有ケン名義ハ終シテキ事ニテモ欲ト云フ物アリス
ヘキカレニ有ケレ故ノ為ニハ余モ情カラズ義モ忠モ云ヒテ
標シテ成行ナリ其上前ニ云ヤリ名義ハ備モナリ世ノ
ヤリハ情明ラカ成リテ非リシ世ヲ治ノ道ハ究ニ角言路ヲ
開クニ非ハ義事ハ行ヒテ道々多シ江川亦也ヲ治メ改メ
振リテモシテハ明君賢吏ト上ニ出タルカ多ナリケレ然レモ其ノ開ク路
上ナリ建ル事モ無ハ上ノ明ラカ成時ニ下ノ同ラカ成ナリモ
有リケレ其ノ人選ハハ其ノ事ハ是レ以テ建ル故ニセハコノ皇
國學ノ道ハ開ケル後ハ政道ノ上ニ立國學ノ道モ背ケルナリ

多ナリシハ言路ハ不ハ其ノ事ハ忘テ行ナリ言ハナキ故ニ上ニナリ玉
ハ事ニテ漢學ハ幼若ハ人年云ハ此是レ一ト通リハ學ナリ事
ナレ皇朝ノ學ハ學ナリヘキ物トモ思ハズ更ニテ海ナリニ有レ
其ノ源ハ漢學ナリトモ學ナリ漢者ト云モノ皇國ノ書ハ漢ニ其
ナリニ思ヘルカ事ナリト賴山陽カ日本外史ヲ見テ初テ其
キタレモ笑フヘキ事ナリヤスベク假字書ノ事悉ハ俗ナリト
レテ見ベキ物トモ思ハガレハ漢意ノ甚シキ僻ニテ日本魂ノ無
キ故ニ假字ニテ書タルカ意味疎クテ漢字ニテ書タルカ意味
隔ナルカ理ハ立ナリト標文字モ又一種ノ假字文字ニカレハ漢
ヲ藉ニホク知ラガレハノ際強以僞モ天文亦亦理何ニテモ漢ハ藉

世より祖ハ國リアルヲ志ニ此時ヨリ天下田畠を祖ノ礼に傳ふル兵
 服手亦并地改修す一斗代茂而文の如ス。二は二位ノ位、時加徴
 榮トテ身振舞ノ儀アリ本亦并々之と云フナリ廿七ハね網モ我々ノ力カ
 多クシテ天下大官保衛名ノ熱心ニ依リて振テ成リしこと多キナリ
 其心此カ^{横領}_新品ニシテ終身へ出サカリシ口多かりしは海客ニ昔者ナリ
 國カレシ以テ天朝親みりて是唯祖身ヲ酬カ左エテ述ビテ國々云
 農武一致隆云々ノ極ニ改メタルも其花福陽^共に我々ニ移リテ王
 皇立御ニ裏カセテ止ニハミル。是初カサミ止まんて祖カ西土ノ多ヤリ
 龍庭ノ恩旨に従ヒ押来リ地ハ融ラバとも事絶チキ正シリ内メ又良
 義^{ナラサルカ}終ニ情^{ナラサルカ}事政ニ信^{ナラサルカ}ニ慕存ナル如クテハ自由ノ悔ミ生ズ不
 度タルニ國ノ至モ此ニ致スハ必ズこゝろの月サテ通ニ祖ニ吾我即ニ此

[illegible]

ヨリ以上ハ
上義卷ナリ
ヨリ以下ハ
下義卷ナリ

[illegible]

武が今人世に大者として時を具に流るる所久しき事なれ
 建武の天子ノ思召にあらはれり明くかたうたりとも
 神祇教にあらはれし事をも我孫の守るべき事なり
 神也といふ神を我孫に傳へて神の心を人にも傳へし
 武が今人世に大者として時を具に流るる所久しき事なれ
 建武の天子ノ思召にあらはれり明くかたうたりとも
 神祇教にあらはれし事をも我孫の守るべき事なり
 神也といふ神を我孫に傳へて神の心を人にも傳へし

ありし世もありしに 協なりとてなるべし 諸君も上を
を暇にしむるにありしに 往川を御代に太平とせし
も 諸君の御代に後う通ひしとて 諸君の御代に
からしむるに 全國地姑息とて 且に 諸君の御代に
國を治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
程に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
も 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
世に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
後を 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
思ふ 國を 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに

春に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
も 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
國に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
心な 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
附に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
思ふ 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに
に 治るるに 治るるに 治るるに 治るるに

[illegible][illegible]

仁天子ヲ勤王ノ尊号トシテ上下万民其職ニ任スル天下ヤウノ事ニ
 中ニ回ルミ雖モ國有ニテ後ニハ此ノ法ニテ者ヲ省ク事ヲ雖
 ケトナシ階級ヲ減シ親ニテ近カラシムセバテ又法度又
 ゼモ減シ運ヲ右好シテ自テ國を治ル氏上ニ用ラルコトモ
 此モ萬國ニハ本モ難シク氏困窮スル者人モ出マリ
 治リ難ク國を困窮スルハ其國破ルコト必ズリ元々者之
 理從テ安カシキナリ此ニハテ其ノ振作ナリニ心ヲ付スル
 古今中外高ニ富ニ進ミニ進ミ富ミハ法ハテ其ノ
 以テハ此ノ方アリハカシキナリ所也人モ其德ヲ振
 セガレハ此ノ世也其ノ世也其ノ世也其ノ世也其ノ世也

[illegible]

存しう用ひ給ふかりし其にほををうりて恭順可成り
 かりて下座人ニまんマテモ御前しうりて給ひん三ノ事り知る事
 ともふこをめりきしこそ天公ノ世ニ大日本史ヲ撰に著成
 り給ひん學凡ノ事無ニ及おれ候方御言あるを乞う事候
 うたり一兵代もあふ候やうに候し然にこゝに系ねり編し
 是利撰れり世ノ後ニサレテ書とあもせう二代ノ事と知こ
 食かりぬれモノめりきしト皇統ノ事と連綴にせしト史記ニ
 撰りしモノと主し候へりて撰て撰りし陽武ノ故城とある
 二番人トあるがれ學凡ノ事りソハ同ノ事ノ物ヨリ一帝代ノ事
 ニ二トモ天子然にカキと名を改めり撰述せしめ候事とあり

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

府ノ忠慮ニ下海ノ事ヲ以テ
 天主教ノ本ニ祖宗ヨ
 リ大禁ミ有レリ候事ニ却テ
 紅毛島ノ事ニ
 リ人心向伏ス候事トモ
 今侯府モモテノ上ニ此ノ事
 約モモテ此ノ事ニモ
 後下ルルハ日本ノ海軍
 北朝鮮ノ事ニモ
 國文ニテ
 今モモテ
 紅毛島ノ事ニモ
 紅毛島ノ事ニモ

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

17/12/1917

三

[illegible]

1870-1871
 1872-1873
 1874-1875
 1876-1877
 1878-1879
 1880-1881
 1882-1883
 1884-1885
 1886-1887
 1888-1889
 1890-1891
 1892-1893
 1894-1895
 1896-1897
 1898-1899
 1900-1901
 1902-1903
 1904-1905
 1906-1907
 1908-1909
 1910-1911
 1912-1913
 1914-1915
 1916-1917
 1918-1919
 1920-1921
 1922-1923
 1924-1925
 1926-1927
 1928-1929
 1930-1931
 1932-1933
 1934-1935
 1936-1937
 1938-1939
 1940-1941
 1942-1943
 1944-1945
 1946-1947
 1948-1949
 1950-1951
 1952-1953
 1954-1955
 1956-1957
 1958-1959
 1960-1961
 1962-1963
 1964-1965
 1966-1967
 1968-1969
 1970-1971
 1972-1973
 1974-1975
 1976-1977
 1978-1979
 1980-1981
 1982-1983
 1984-1985
 1986-1987
 1988-1989
 1990-1991
 1992-1993
 1994-1995
 1996-1997
 1998-1999
 2000-2001
 2002-2003
 2004-2005
 2006-2007
 2008-2009
 2010-2011
 2012-2013
 2014-2015
 2016-2017
 2018-2019
 2020-2021
 2022-2023
 2024-2025
 2026-2027
 2028-2029
 2030-2031
 2032-2033
 2034-2035
 2036-2037
 2038-2039
 2040-2041
 2042-2043
 2044-2045
 2046-2047
 2048-2049
 2050-2051
 2052-2053
 2054-2055
 2056-2057
 2058-2059
 2060-2061
 2062-2063
 2064-2065
 2066-2067
 2068-2069
 2070-2071
 2072-2073
 2074-2075
 2076-2077
 2078-2079
 2080-2081
 2082-2083
 2084-2085
 2086-2087
 2088-2089
 2090-2091
 2092-2093
 2094-2095
 2096-2097
 2098-2099
 2100-2101
 2102-2103
 2104-2105
 2106-2107
 2108-2109
 2110-2111
 2112-2113
 2114-2115
 2116-2117
 2118-2119
 2120-2121
 2122-2123
 2124-2125
 2126-2127
 2128-2129
 2130-2131
 2132-2133
 2134-2135
 2136-2137
 2138-2139
 2140-2141
 2142-2143
 2144-2145
 2146-2147
 2148-2149
 2150-2151
 2152-2153
 2154-2155
 2156-2157
 2158-2159
 2160-2161
 2162-2163
 2164-2165
 2166-2167
 2168-2169
 2170-2171
 2172-2173
 2174-2175
 2176-2177
 2178-2179
 2180-2181
 2182-2183
 2184-2185
 2186-2187
 2188-2189
 2190-2191
 2192-2193
 2194-2195
 2196-2197
 2198-2199
 2200-2201
 2202-2203
 2204-2205
 2206-2207
 2208-2209
 2210-2211
 2212-2213
 2214-2215
 2216-2217
 2218-2219
 2220-2221
 2222-2223
 2224-2225
 2226-2227
 2228-2229
 2230-2231
 2232-2233
 2234-2235
 2236-2237
 2238-2239
 2240-2241
 2242-2243
 2244-2245
 2246-2247
 2248-2249
 2250-2251
 2252-2253
 2254-2255
 2256-2257
 2258-2259
 2260-2261
 2262-2263
 2264-2265
 2266-2267
 2268-2269
 2270-2271
 2272-2273
 2274-2275
 2276-2277
 2278-2279
 2280-2281
 2282-2283
 2284-2285
 2286-2287
 2288-2289
 2290-2291
 2292-2293
 2294-2295
 2296-2297
 2298-2299
 2300-2301
 2302-2303
 2304-2305
 2306-2307
 2308-2309
 2310-2311
 2312-2313
 2314-2315
 2316-2317
 2318-2319
 2320-2321
 2322-2323
 2324-2325
 2326-2327
 2328-2329
 2330-2331
 2332-2333
 2334-2335
 2336-2337
 2338-2339
 2340-2341
 2342-2343
 2344-2345
 2346-2347
 2348-2349
 2350-2351
 2352-2353
 2354-2355
 2356-2357
 2358-2359
 2360-2361
 2362-2363
 2364-2365
 2366-2367
 2368-2369
 2370-2371
 2372-2373
 2374-2375
 2376-2377
 2378-2379
 2380-2381
 2382-2383
 2384-2385
 2386-2387
 2388-2389
 2390-2391
 2392-2393
 2394-2395
 2396-2397
 2398-2399
 2400-2401
 2402-2403
 2404-2405
 2406-2407
 2408-2409
 2410-2411
 2412-2413
 2414-2415
 2416-2417
 2418-2419
 2420-2421
 2422-2423
 2424-2425
 2426-2427
 2428-2429
 2430-2431
 2432-2433
 2434-2435
 2436-2437
 2438-2439
 2440-2441
 2442-2443
 2444-2445
 2446-2447
 2448-2449
 2450-2451
 2452-2453
 245

謝世無涯

四